

記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2021年8月27日朝刊西部版

ススキの下で咲くナンバンギセル＝浜松市浜北区の万葉の森公園



寄生植物「ナンバンギセル」咲く 浜北区

万葉集の歌で「おもひぐさ」の名で詠まれた寄生植物のナンバンギセルが、浜松市浜北区平口の万葉の森公園で咲いている。ナンバンギセルという現在の名は江戸時代、南蛮人がタバコを持ち込んだ際のきせるの形が似ていることで付けられた。

同公園専門員によると、ススキなどに寄生し、下を向いて咲いている様子が物思いにふけているように見えることから、おもひぐさの候補だと考えられる。

園内では今季、咲き始めが例年より2週間ほど早まり、見頃はすでに終盤を迎えている。今週末までは観察できそうだという。

- ①見出しの「寄生植物」は何と読みますか。ひらがなで書きましょう。(**きせいしょくぶつ**)
- ②写真の中に見える「ナンバンギセル」の花を○で囲みましょう。
- ③「ナンバンギセル」が万葉集の歌で「おもひぐさ」の名で詠まれたと考えられる理由は何ですか。
(**(ススキなどに寄生し、)下を向いて咲いている様子が物思いにふけているように見えることから。**)
- ④「ナンバンギセル」という名はどのようにして付けられましたか。記事中から読み取って、40字以内にまとめて書きましょう(句読点を含みます)。

(例)	江	戸	時	代	に	南	蛮	人	が	タ	バ	コ	を	持	ち
	込	ん	だ	際	の	き	せ	る	に	形	が	似	て	い	る
	こ	と	で	付	け	ら	れ	た	。						

年 組 名前